

(陸軍) 副官長崎要塞司令官、照會案

二月二十九日附地帯第三號ヲ以テ要塞地帯標第十
七號移轉方ノ件ニ關シ申請相成候處右ニ關シ三
菱合資会社長崎造船所構内身投鼻繫船壁
築造並水面埋立工事ノ情况不明ニ付詳細報告
相成度也

追テ繫船壁築造並水面工事等ハ大臣ノ認
可ヲ要スルモノト認メテ候條貴部限リ取計相成
候事情併テ報告相成度候

陸軍省 陸軍第六四九號

三月四日

2681

陸軍省 陸軍部 第三二號 三月二日

長崎要塞司令部 地帯第三二號

要塞地帯標移轉件申請

大正五年二月二十五日

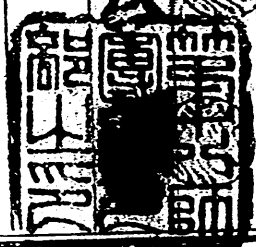
長崎要塞司令官河田正太

陸軍大臣岡市之助殿

別紙願出ニ依リ調査候處第十七號標移轉ノ爲地帯取締
上支障ナリ且ツ新位置ハ現位置ニ比シ周圍ヨリ展望上及該標
保存上適當ト被認候付移轉ニ至我認可相成度候也

第十八師 九九號

大正五年二月二十八日 第十八師團司令部



陸軍

1681

明治二十六年設立

三菱合資會社
長崎造船所

長崎市飽ノ浦町壹丁目

附屬書類

圖ニ通

官第五五號

大正五年二月十八日

復寫

通

要塞地帯標移轉願ノ件

拜啓陳ハ昨年八月十一日付第九三四號ヲ
以テ御認許相成候當所構内身投鼻
繫船壁築造并水面埋立工事ノ儀
近々竣工運ビト相成候處談地先別紙
圖面黒点ノ個所ニ要塞第二地帯標第
十七号ヲ建設有之工事上支障有之候
ノミナラズ竣工後繫船場合附近ヨリ張り
タル繫船索ガ船体大小又ハ異動等ノ
關係ヨリ同標ニ觸レ毀損破壊等ノ虞モ
有之候間特別御詮議ヲ以テ談標石ヲ

東京一色原所印製

西方廿八尺、箇所(別紙圖面赤表、箇所)へ
御移轉被下度別紙圖面二葉相添へ次

故奉願上候

謹言

三菱合資會社長崎造船所長

鹽田泰介



長崎要塞司令官

河田正太殿



東京一色紙所刊

<http://www.jacar.go.jp/>

長崎要塞司令官、指令案（オランダ国へ全部を由）
申詰ノ通

陸軍第六四九師團司令部進言（何故大臣ノ許可ナシテ許可セ
シヤ）ノ回答ニ對ステハ、概ラ見テ主務者ヨリ注意見
スル筈ナリ（境方佐名）



三月廿三日





外三ノ二番一

地帯第四

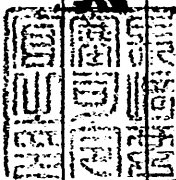
三月十七日

三菱合資會社長崎造船所構内水面埋立件通牒

大正五年三月十四日

長崎要港司令官河田正太

陸軍省副官和田亀治殿



大正五年三月四日陸軍第六四九號ヲ以テ照會件左記
ノ通及通牒候也

左記

三菱合資會社長崎造船所構内身投鼻繫船壁築造並水面埋立工事ハ別紙願書寫ノ通長崎市岩瀬道町百六十六番ノ拾參地先水面(別紙附圖第二)ニシテ同造船所第二船渠ト第三船渠トノ中間ニ於テ干潮時ニ露出スル海岸品百

陸

軍

拾五坪ニ合五勺五才、埋立ヲナレ此ノ所ニ大小二個ノ繫船壁（別
紙附圖第二）ヲ築造スルモノニテ將來軍事上支障ナキモノト認
ム

ニ追書ニ関シテハ其當時ノ當事者更迭セルモ察スルニ要塞地
帯法第十五條第一項ニ該當スルモノトシテ取扱ヲナレ確實ヲ期
スル爲メ許可證ヲ交付シタルモノト思考ス

